



平成31～令和元年（4月～6月）

まじわるde○○のイベント開催報告です。



まじわるdeまなぶ
「知的障がいについて」
 5月28日（火）13:30～15:00
 ※参加者：19名
 基本的な知識と共に、体験を通して、感覚的に具体的に「知的障がい」についてのお話や、言葉や伝えることの難しさや体験等を通して、知的障がいを持つ方とのコミュニケーション方法や配慮のポイントの説明がありました。「体験をして、バニシングになる気持ちが少しわかった気がしました。」「相手がどんな困難を抱えているのか、どんな気持ちでいるか細やかな想像力が必要だと思いました。」などの感想を頂き、知的障がいについて理解を深めて頂きました。

まじわるdeトーク
 4月13日（土）13:00～15:00
 ※参加者：8名
 新しい参加者の方や、久しぶりに参加して下さった方もいらっしゃり、フレッシュな雰囲気の中でのでした。「桜」や「春」をテーマにしたのんびりとおしゃべりをしました。途中、オカリナの演奏に合わせて歌を歌ったり、春にちなんだ絵画等の作品を発表したり、まるでお花見をしているかのようにワイワイと盛り上がった「まじわるdeトーク」になりました。

まじわるde市民館トーク
 6月21日（金）13:30～15:00
 ※参加者：16名

今回は、「わたしの施設の活動自慢」をテーマにして、トークをしました。活動風景の写真を見せたり、実際の仕事道具を見せてやり方を説明したり、自主製成品を見せたり等、皆様、自慢したい仕事や日中活動について工夫をこらしてお話していました。お互いにアドバイスをし合いながら、コミュニケーションを取り合い、今後の仕事や活動に意欲的になっていました。又「あおぞら宣言」についてもお話しをし、各々自分の将来について考えるきっかけとなりました。

しょうがい者サポーター養成講座
 5月21日（火）13:30～15:00
 ※参加者：2名
 当講座では、様々な障がいの基礎を学び、対応方法を具体的な例を交えてお話ししています。受講者の方から、「近頃は、困っていると書いて、声を掛けても、不慣れ思われてしまう」という声を頂き、時代の特徴を実感しました。「サボちゃん」マークのキーホルダーが少しでも広がり、困っている時に声を掛けられる良い存在として広く認知されるようこれからも頑張ります!!

まじわるdeフラワー
 5月11日（土）13:30～15:00
 講師：八木美穂氏
 ※参加者：13名
 春らしいピンクのカーネーションを中心に、可愛らしいフラワーアレンジメントをしました。母の日直前ということもあり、お母様への日頃の感謝の気持ちを込めて作られる参加者の方もいらっしゃいました。全員同じ種類のお花を使用しましたが、個性が表れていて、全て素敵な作品になりました!!完成後、講師の八木先生からお一人ずつにコメントを頂き、皆さんでまじわる「まじわるdeフラワー」を楽しむことができました。

まじわるdeトーク
 6月8日（土）13:00～15:00
 ※参加者：4名
 今回のトークでは、初めて「ボードゲーム」をして、トークを楽しみました。ゲームを通して、参加者の方々の考えや思いを知ることができ、新たな一面の発見に繋がりと、会話が弾みました。夢中になり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。ゲームの後には、参加者の方のエキベスの演奏に合わせて、皆で歌を歌って、トークが終わりました。楽しく充実した時間を過ごすことができました。

第4回 まじわる de 夏まつり

開催のお知らせ!



令和元年7月20日(土) 10:30～14:30
 会場：まじわる宮前 1階 / 2階あーる工房



今年も宮前兄妹が遊びに来てくれます!(^^)!

恒例のお楽しみ企画

屋台（たこ焼き・焼きそば・かき氷etc） / 地域野菜販売 / 多肉植物 / カフェ（コーヒーetc） / ヨーヨー釣り / すいか割り / 障がい者福祉施設自主製成品販売 / 絵画展 / 高齢・障がいよろず相談 / 健康相談 / ミニマッサージ / 浴衣レンタル / 秀麗会盆踊りetc

※ワークショップ（バリエーションアート etc）
 ※ミニ演奏会（コース・オカリナetc）
 ※ジェラト販売（駐車場）

ご来場、お待ちしております!

【編集後記】

今号の季刊紙はいかがでしたでしょうか。

今回は、地域で活躍する団体やコミュニケーションツールの紹介、地域のお店などを紹介しました。

きまっしーも地域との交流を図りながら、地域の紹介やきまっしーの活動などを発信することで、障がいのある方も安心して生活できるような努めまいります。

まじわるde夏まつりも間もなく開催します。皆さまのご支援・ご協力、引き続きよろしくお願い致します。

季刊

Vol. 12

夏号

きまっしー

発行日：2019年7月1日
 発行元：社会福祉法人みのりの会
 生活支援センター きまっしー
 連絡先：宮前区馬場6丁目10番33号
 まじわる宮前2階
 TEL 044(855)1011
 FAX 044(855)1022
 kimasshi@tobe-kobato.or.jp

f <https://www.facebook.com/kimasshi.kimasshi/>



【ソフトクリーム】

柴田 さくら（しばた さくら）

1986年生まれ。
 養護学校卒業後、厨房じんべいに入所。手先がとても器用であることから、自主製成品担当としてシュシュやぬいぐるみ・雑巾などすべて手縫いで仕上げている。初めての日に興味を持ち、名前や誕生日を聞いては、すべて自分の脳にインプット。久しぶりの再会でも、出会った日を思い出し、声をかけてくれる。食べ物や好んで描いているのは、食いしん坊のせいでしょか？モチーフの形は忠実に描き、クレープやバステルで丁寧に塗られている。

諸永 圭二（もろなが けいじ）

1981年生まれ。
 厨房じんべいに入って5年が経過。笑顔が素敵で、とても落ち着いた雰囲気を持っている。普段は創作活動（ストーンアート、松ぼっくりのクリスマスツリー）、習字や平面、立体制作に関心がありあまる才能を秘めている。とにかくモチーフを正確に説明しているように描く。その描写力にも脱帽する。粘土で動物などの立体作品を作る時もみじだが、時に前足が人の手のように作られていて、独特な感性をかもし出す。



【サザエさん】※写真は紙粘土の作品です。

今回は、【夏】をテーマに2作品を紹介しました。2人は、生活介護【厨房じんべい】に所属して、絵画の時間に作品を制作しています。感性や造形力が豊かで、細部まで丁寧に描かれた作品には、ほっと和ませるエッセンスを感じます。

【問合せ先】生活介護『厨房じんべい』
 〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵1-34-9
 TEL：044-872-8370 FAX：044-872-8371



【サボちゃん】

地域につながる『コミュニケーション支援ボード』

私たちの住む地域には様々な障がいのある方が暮らしています。知的障害のある方たちの中には、言葉で自分の気持ちを表したり、相手の言葉が理解できない方もいます。しかし、そのような方たちも、絵記号など分かりやすい方法があれば、やりとりができることもあります。

今回紹介する『コミュニケーション支援ボード』は、話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある障がいや自閉症の方が使いやすいコミュニケーション方法として、財団法人明治安田こころの健康財団が作成した支援ツールです。

最近では、利用頻度の高い交番やパトカーに配置された警察用や救急車等に配置された救急用、ほかに鉄道駅用、コンビニ用、災害時用など、カスタマイズされた支援ボードが順次開発されています。

また、この『コミュニケーション支援ボード』は、障がいのある方たちだけでなく、話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある外国人や高齢者、病氣療養中の人たち、幼児などにも幅広く活用されるようになってきました。

『コミュニケーション支援ボード』の普及は、私たちが知的障がいや自閉症の人々などへの社会的関心や理解を深めるツールとして、また人々のこころのバリアも無くしていこうとする意味が込められています。

詳しくは、[コミュニケーション支援ボード](#)で検索をお願いします。

【救急用コミュニケーション支援ボード】【警察用コミュニケーション支援ボード】



常時600種以上の多肉植物が楽しめます。

【タナペフラワー】さんに行ってきましたー!

宮前区馬網交差点から徒歩で約5分、川崎馬網郵便局近くに「タナペフラワー」のお店があります。きまっしーも「まじわるde夏まつり」

では、販売に協力してもらい大変お世話になっています。敷地内には温室が5棟あり、600種以上の多肉植物が所狭しと並べられています。値段も手軽に買える多肉植物が多彩に揃っていました。

また温室の一角には、オリジナルの植木鉢があり、身近な素材（空き缶など）に絵付けをして植木鉢にし、多肉植物とのコラボレーションを楽しんでいるようにみえました。

駐車場もあり、温室内はフラットなので多肉植物をゆっくり見て楽しむことができます。

みなさんも、ぜひ訪れてみてください。素敵な多肉植物と出会えるかもしれません…

所在地 〒216-0035 川崎市宮前区馬網6-25-8
電話 044-877-5852
営業時間 9:00~16:00
定休日 不定休



ささえあい、ふれあいあふれる地域をめざして!

『ふれあいCafe桃花』

宮前第3地区社会福祉協議会（馬網・大塚・小台）の取組みの一つとして開催している「ふれあいCafe桃花」をご紹介します。

「ふれあいCafe桃花」は、毎月第1火曜日の13:00~15:00 多世代が楽しい、気軽にお茶を飲みながら会話を楽しみ、ふれあいあふれる地域の居場所となるよう開催しています。

今回は、カフェ桃花実行委員を務めている入口様にお願いで「ふれあいCafe桃花」の魅力などについていろいろお話を伺いました。ご協力ありがとうございました。



【お歌遊びの様子です。】



【ふれあいCafe桃花】の名前について

馬網地区は、昔から（江戸時代）続々花桃の産地だったので、その名前をいただいて「ふれあいCafe桃花」と名付けました。



【ふれあいCafe桃花】が誕生した経緯などについて

以前から高齢者を対象に「会食会」を3ヶ所で行ってきました。地区会館が建て1ヶ所にして続けてきましたが参加できない方もおり、また会食会の制約もありましたので、新たな取り組みとして制約を外したカフェ作りを模索することになりました。地域の皆さんが年齢に関係なく気軽にふれあえる居場所づくりとして「ふれあいCafe桃花」が誕生しました。



【ふれあいCafe桃花】のセールスポイント

馬網地区は細長い地域になっているため、宮前地区会館の他に地域の福祉施設2ヶ所（「くら宮前平」「川崎愛児園」）に願って巡回方式で「ふれあいCafe桃花」を開催しています。

参加者は平均15名ほどですが、地域包括支援センターや保健師、薬局の栄養士さんなども来て、日常生活における健康法や予防法などについてアドバイスをしていたり、ちょっとした体操やお歌遊びなどを通してふれあいを大切にしています。

「来て下さい。」から、呼び掛けをしなくても気軽に立ち寄ってもらえるようなカフェを作っていくように頑張っていきます。また近くの公園などを借りて外からも見えるようなカフェも実現できたら考えたいです。



カフェを続けて良かったことは?

「楽しかったー!」という声を聞くと、続けてきて良かったと思いました。また「川崎愛児園」で開かれるカフェでは、愛児園で暮らす子ども達も参加してくれて孫をみるようなふれあいも良かったと思いました。



【ふれあいCafe桃花】からのご案内です

8月21日(水) 13:00~15:00 『川崎愛児園』
9月5日(木) 宮前地区会館にて『第2回桃花まつり』を開催予定です。

◇お問合せ◇

宮前第3地区社会福祉協議会 TEL: 044-856-5500
川崎市宮前区社会福祉協議会内(宮前区宮崎2-6-10 宮崎台ガーデンオフィス4階)



きまっしーからの
お知らせです!

まじわるde
サンキャッチャー
8月7日(水)
13:30~15:00
会場:あーる工房

前回の季刊紙で、未定だったまじわるdeワークショップ/まなぶの日程が決まりましたのでお知らせします。
詳しくは後日ご案内いたします。

まじわるde まなぶ
(発達障がい)
8月22日(水)
13:30~15:00
会場:あーる工房